

いわき石川線 大規模地すべり災害復旧工事 最新情報

1. 工事はどこまで進んだのですか？

■上釜戸工区

11月8日に車線切り替え工事が完了し、現在、仮道工の掘り下げ工事を施工しています。(アカー工施工全体数量575本のうち283本(49%)が完了)小名浜港へ運搬した約13万m³の土砂のうち、約11万m³を東港へ船で運搬済みです。

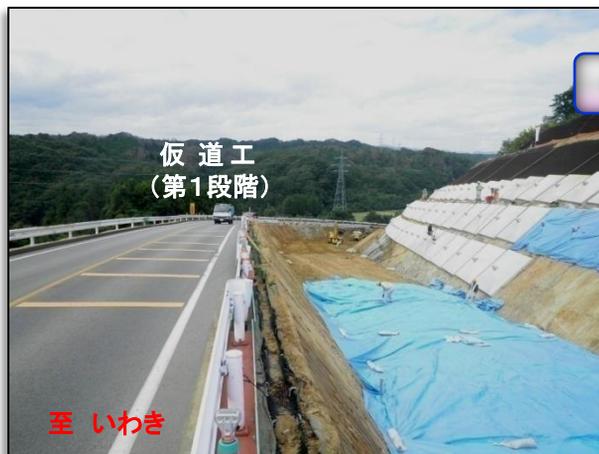
車線切替前 (10月末)

車線切替後 (11月8日)

起点側



中間点



終点側



■才鉢工区

11月末現在で崩壊した法面の全ての土砂除去（約4.2万m³：ダンプトラック約8,400台）と、法面補強工事（植生基材吹付工：約9.1千m²、グラウトアカー工：249本）が完了しました。現在、法面崩落によって壊れた舗装工の復旧工事（L=130m）を行っており、12月中旬に本線（被災前の道路）が通行できるようになります。



施工前の状況（H23年9月末）



法面補強工事施工状況（H24年10月末）



現在の状況（法面補強工時完了・本線舗装工完了）



被災状況（路面の沈下と亀裂）



舗装工の施工状況

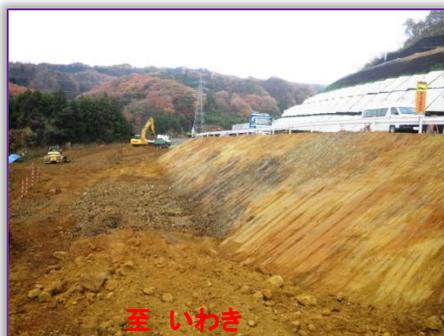
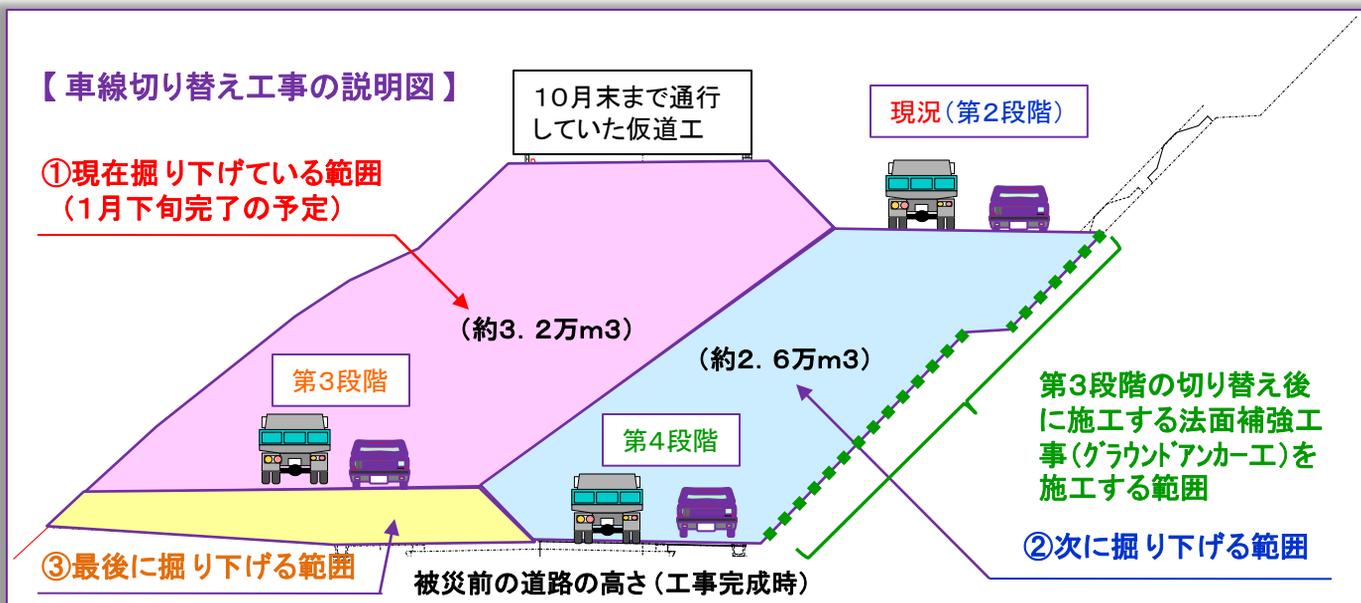


舗装工完了（12月3日）

2. 今後どのような工事を行うのですか？

■上釜戸工区

今後も仮道工（説明図内の①の範囲）の掘り下げ工を行います。第3段階に車線切り替えを行った後には、説明図内②の範囲の土砂除去及び法面補強工事（グラウトアンカー工：292本）を行います。



現在の状況（10月末まで通行していた仮道工の土砂を撤去中：「説明図」内①の範囲）

■才鉢工区

12月下旬から仮道工（L=550m）の撤去工が始まります。2つある仮橋工の撤去工事の際にはやむを得ず「片側交互通行」となる場合もありますので、通行される皆様の工事に対する御理解と御協力をよろしくお願いいたします。



3. 「うつくしま情報局」で派遣職員の皆さんが紹介されました。

いわき建設事務所の「復旧・復興課」には、「福島県の復旧・復興を直接支援したい!」という強い志を持った総勢10名の方々が1都5県から派遣され、福島県職員と一緒に日夜災害復旧業務に携わっていただいております。11月25日に放送された県政情報番組「うつくしま情報局」の中で、派遣職員の皆さんが紹介されましたので、ここであらためて御紹介します。



■後列左から

山内 啓義 主査 (神奈川県)
大庭 栄次 主査 (群馬県)
神保 作夫 主査 (群馬県)
天内 大聖 主査 (青森県)
喜代田 丈 技師 (東京都)

■前列左から

大森 寿章 主任主査 (栃木県)
高山 義明 主査 (神奈川県)
渡邊 康弘 技師 (栃木県)
山下 涼華 主査 (東京都)
川原 勝己 主査 (鹿児島県)



撮影風景 (大森主任主査)



撮影風景 (大庭主査)



がんばっぺ! いわき!!

4. 茨城県建設技術協会の現地視察会が開催されました。

11月20日に上釜戸工区において茨城県建設技術協会員の皆さん約60名が参加して現地視察会が開催されました。天候にも恵まれ有意義な視察会でした。



【事務担当】

復旧・復興課 道路・橋梁復旧担当 主任主査 渡邊 敦宏 電話：0246(35)6075